

## 町の機関「ポルト21」でリース作りを指導

10月29日（火）、斜里町ポルト21において職員を派遣してリース作りの指導を行いました。  
10月の衛生週間中、健康講話に保健師さんが来られた際に、知床森林センターでのイベントの催しを聞き依頼があったもので、会場に集まった8名の方にセンター職員が準備したトドマツの葉をハンガーを利用して作った丸い針金のリングに取り付け、マツカサ、リボン、ベル等で飾り付けをしてリースを作りました。  
皆さんは職員の手元を見ながらトドマツの葉の束をリングに取り付けその後、飾り付けをして仕上げました。  
最後に保健師さんの司会で作品を作っていて苦労した点、良い点などの感想を話し合いリース作りを終了しました。トドマツの香りが立ちこめる中で、それぞれの作品に満足して頂きました。



## 第45回森とのふれあい参加者募集中

森の恵みの小枝や落ち葉、オホーツク海の荒波にもまれた流木や小石を利用した木工工作の催しを企画しました。冬休みの思い出に親子で共同制作を体験してみませんか。

- 1 実施日 平成15年1月11日（土）
- 2 主催 知床森林センター
- 3 日程 知床森林センター 9:00集合 12:00解散
- 4 内容 小枝・流木・ドングリ・小石等を使った小動物の木工工作、  
落葉を使ったステンドグラスの製作など
- 5 募集人員 35名です。応募者が定員を超えた場合は抽選となります。  
保護者同伴でご参加下さい。
- 6 参加料 傷害保険加入料として200円いただきます。
- 7 申込方法 はがきに、住所・氏名（ふりがな）・年齢・電話番号を記入して  
12月20日（当日消印有効）までにセンターへお申し込み下さい。

## 人の動き

総務係 阿部恵徳：網走南部森林管理署美幌森林官へ

## 知床の森から

平成14年12月発行 第81号



北海道森林管理局北見分局 知床森林センター  
〒099-4113 北海道斜里郡斜里町本町11番地  
電話 01522-3-3009 FAX 01522-3-3160  
ホームページ <http://www.siretoko.knc.ne.jp/>



## 知床は今

森林センターの窓からオオワシが青空を滑空する姿を見ました。オオワシやオジロワシの姿を見ることが多くなると、知床へ厳しい冬がやって来る季節になったと連想します。

森林センターの辺りは雪はまだ積もってませんが、知床連山や斜里岳は雪化粧となり、寒さも一段と厳しさを増し、雪が積もるのもあつという間でしょう。

車で海岸線を通ると小高い断崖のにせり出す木の枝にオオワシが止まっている姿を見ることができます。鋭い目つきで黒い身体で肩に白い線が入り、大きくて鮮やかな黄色いクチバシが目立ちます。オオワシを見ていると”勇壮”という言葉がぴったり合うように思います。

オオワシの背の高さは雄で88cm、雌が102cmと雌の方が大きく、翼を広げると220～245cmもあります。オオワシが羽ばたくのを目で見ると、その大きさに怖さを感じるほどです。



オオワシ

青空を飛ぶオオワシはグライダーのように空を滑空します。黒い身体と白い肩が青い空に映え、そのコントラストに美しさを感じます。

昨年は斜里からウトロへ行く間に80羽程のオオワシを見たことがあります。今年もたくさんのオオワシを見ることができのでしょうか？

知床は厳しい冬を迎えています。しかし、オオワシやオジロワシ、アザラシなどの動物達がやって来る季節でもあり、冬の動物達に会えるのが楽しみです。

第44回 森林とのふれあい

「森の恵みでクリスマスリース作り」を開催

～町内の小学生、おかあさんなど30名が参加～

11月24日（日）に、昨年に引き続いて2回目となるクリスマスリース作りを行いました。

講師のひとり古川範子さんは、町内で華道教室を開いており、またドライフラワー、リースなどを町内の金融機関などで展示された人々の目を楽しませています。その作品の美しさには定評があり、是非この機会に古川さんからリース作りを学びたいと49名の応募があり、抽選で選ばれた30名が参加しました。

最初に、所長からハサミなどの道具を使う上での注意点及び講師から材料の取扱い方などの説明を受けた後、

- ① トドマツの先葉を約15cmの長さに切り揃え、約8本ずつ15束程用意する
- ② リングに①で用意した先葉の束を順序よく取り付けリースの原形を作る
- ③ ②のリースにストロブマツ、アカエゾマツ、ヒマラヤトウヒなどのマツカサを3～10個程縛りつけた後、シルバーベル、リボン、オーナメント（赤い造花）を飾り付ける



などの作業を行い、約3時間で30個のクリスマスリースが出来上がりました。

参加者の小学生は、「友達の家に手作りのすてきなクリスマスリースがあり、そのことをおかあさんに話したら、今日連れてきてくれました。難しかったけれども、皆さんに手伝ってもらって完成させることが出来ました。自分の部屋に飾っておこうかな」とうれしそうに話し、リースを大事に抱え帰っていきました。

森林の香りが家を包み、すてきなクリスマスがきっと迎えられるでしょう。



【ご存じですか】

クリスマス色の話

クリスマスの基調色は、赤、緑、白です。

- 赤** : イエスキリストが十字架上で流された血を表し、深い愛を意味します。
- 緑** : 常緑樹は寒い冬にも緑の葉をつけていることから、永遠の命を表します。
- 白** : 清らかさを表します。
- 金と銀** : 高貴なものを意味します。
- 丸いリース** : 幸せが永遠に終わらないようにとの願いが込められています。

ミズナラ堅果結実調査の結果まとまる

”今年 は 平 年 作”

毎年、知床半島で実施している「ミズナラ堅果結実調査」の平成14年の調査結果がまとまりました。

平成13年は数、重量共に多く豊作でしたが、今年 は 平 年 作 と 見 ら れ ます。

この調査は知床半島の主要な樹種の一つであるミズナラのドングリの結実を調べていて平成元年から毎年実施しています。調査地は知床半島の岩尾別・イタシュベツ地区の二箇所に設けられ、全部で25本のミズナラを調査木として選んでいます。ドングリを集めるのは9月中旬から10月下旬まで、一週間毎に6回集めました。その方法は、各調査木の枝の下に、ドングリを受け止めるための寒冷紗（かんれいしゃ）で作った1辺四方のトラップ（写真右）を1本当たり3個、全部で75個設置し、そこに落下するドングリを集めます。集めたドングリは一個ずつ重さを量り、重さ、個数を集計し樹冠面積に対する係数をかけて算出します。



今年 は 低 気 圧 の 影 響 で 道 路 が 通 行 止 め に な り 回 収 で き な い 週 も あ り ま し た が、調査結果は下のグラフのようになりました。調査木1本当たりのドングリの数は平均4、406粒、ドングリ1粒あたりの平均重量は2グラムとなりました。これまでの統計から、豊作の翌年はドングリの結実が少なくなるパターンでしたが、これを裏付ける結果となりました。

調査して気のついた点は、落下量の多い木と少ない木の差が大きいということです。数年遡って調べてみると結実の多い木は多く、少ない木はやはり過去も少ないということが分かりました。又、地区別では知床半島に近いイタシュベツ地区の粒が小さいようです。

年度別 堅果個数及び重量

